

助成区分ごとの支援事業例

- ・ここに記載したのは、過去に助成の対象となった支援事業の例です。
- ・記載した例以外の活動も支援の対象となる場合があります。不明な場合は、募金事務局までご相談ください。

助成区分	支援事業の例	支援内容の例
1. 草原維持管理の継続	・未利用草地における採草促進のための利用普及活動	・調査、広報費用等
	・草小積み・草泊まりの制作・設置など、野草利用とあわせた採草文化や技術継承、阿蘇らしい景観づくりに貢献する活動 等	・作業員人件費、替え刃代等
2. 様々な動植物が生息・生育する草原環境の再生	<ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇草原の生物多様性保全に関する調査・研究活動 ・調査結果を活かし、草原保全に寄与する活動の普及 等 	・調査・研究、報告書作成、保全活動等に必要な費用の一部
3. 草原環境学習の推進／担い手づくり	・地元小中学生を対象とした草原環境学習のカリキュラム化に向けて必要となる、学習プログラムの実施や新規プログラム開発などの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣、会場・車両等借り上げ、教材作成などに係る費用 ・新規学習プログラム開発に必要な実験資材などに係る費用
	・阿蘇で生産されたあか牛肉を利用した学校給食の提供とあわせた草原環境学習の活動	・あか牛肉購入、学習教材作成、講師等派遣に係る費用
	・大学生等による、野焼き・輪地切りなど草原維持管理活動の支援とあわせて行う草原環境学習の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・草原学習教材の購入 ・講師派遣、車両借り上げ費等
	・幅広い人々を対象とした草原環境学習を進めるため、草原再生に関する普及・啓発活動 等	・草原再生の活動を情報発信するための資材作成、広報費用等
助成対象となるもの (一般)	講演講師、活動に関わる指導者に対する謝金、作業アルバイト人件費、旅費交通費、車両(レンタカー)の賃借料、消耗品、郵便料、切手代、はがき代の購入費、チラシ、ポスター、パンフレット等の広告物の製作費や印刷費、会場費、傷害保険料やイベント保険料	
助成対象とならないもの (一般)	飲食費、土地、建物などの不動産、車両、株式や債券、仕入、原材料、団体スタッフの人件費、PC、タブレット、プリンタ、光熱費、通信費、保証金、敷金など申請者・団体の管理運営費や汎用的に使えるものは対象外です	